

平成 19 年 3 月 30 日  
東北電力株式会社  
東通原子力発電所

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）  
（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 18 年 3 月分

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況 (2月28日現在)	発生場所
1	H18.3.6	原子炉冷却材浄化系試料採取系サンプリングラック (水質管理のため原子炉水を採取する設備)	原子炉水を採取する設備に設置している配管の水抜き用閉止栓ににじみが確認されたため、当該閉止栓を新品と取替えた。なお、にじみはごく微量であり進展もなく、原子炉水の採取にも支障はないため、プラントの運転に問題はない。	処置済み	原 子 炉 建 屋
2	H18.3.15	モニタリング設備 (発電所周辺の空間の放射線量を監視している設備)	放射線量を記録する中央制御室の計器の印字用部品が変形し、印字不良が発生したため、当該部品を新品と取替えた。なお、一時的に記録が印字できなくなったが、データの測定および伝送は正常に行われており、放射線量の監視に問題はない。	処置済み	中 央 制 御 室

3	H18.3.23	<p>放射性ドレン移送系  （原子炉格納容器内の機器等  で使用した水を原子炉格納容器外に移送する設備）</p>	<p>原子炉格納容器内の機器等  で使用した水を一時的に貯める槽において、通常はほぼ一定の速度で水位が上昇するが、一時的に水位上昇速度が速くなる事象があった。原因を調査したところ、槽内の水を移送するポンプの出口側配管に設置している逆止弁の閉止状態が一時的に悪くなり、逆流が生じたものと推定されたことから、第1回定期検査時に当該弁の分解点検を実施した。なお、原子炉格納容器内の機器等に異常が無いこと、および本事象が続いた場合でも水の移送に支障はないことから、プラントの運転に問題はない。</p>	処置済み	原子炉 建屋
---	----------	--	--	------	-----------